

女性会だより

白山商工会議所女性会 第七十七号



愛即実践をモットーに

石川県商工会議所女性会連合会
第十九回会員大会記念講演会

令和元年七月二日（火）、加賀市山代温泉瑠璃光にて、石川県商工会議所女性会連合会第十九回会員大会が開催されました。大会終了後、社会福祉法人篤豊会理事長久藤妙子氏をお迎えし、「冬温夏清 人生は忍と怒の心で」と題した講演会が開催されました。



講演される久藤妙子氏

久藤理事長は、ご主人と共に救急病院を開院していました。しかし、病院では緊急入院して

も、一週間しか入院出来ず、自宅での療養に困難の多い高齢の方をはじめ沢山の患者さんから何とかならないものかという相談が多く寄せられていました。

それに対して何とか力になれないものかと、老人福祉を自分がやる仕事と思い、特別養護老人ホームを始められたそうです。

高齢者は住み慣れた地区で生活したいという気持ちが強いものです。しかしながら、かつては老人ホームと言えば、人里離れたところにあるものでした。そんな皆さんの願いを何とかしたいという思いから、それまでの生活圏に近い地区に特別養護老人ホームを作ることになりました。

た。モットーは「愛即実践」、高齢者一人一人を思いやり、行動し高齢者の希望を受けとめ、すぐに対応することだそうです。

岡本かの子(※)の言葉に「人生は悟るのが目的ではないです。生きるのです。人間は動物ですから」というものがあり、久藤理事長はこれを、若いという自然現象を受けとめ、しっかりと生きることと説きました。

久藤理事長は、本当にパワーな女性です。ご自身も年齢の事忘れていたのではないかと思う程、やりたい事、やるべき事、これからの社会福祉に対す

る熱い思いを感じることが出来ました。すばらしいです。まだまだ、歳だから、出来るわけないから等は言っていられませ
ん。前向きに頑張らなければと
いう思いを新たにしました。



久藤氏を囲んでの記念撮影

※岡本かの子は、芸術家 岡本太郎の母で小説家、歌人。

日本遺産認定 北前船資料館と橋立北前船集落

会員大会の終了後、視察研修として加賀市橋立町にある「北前船の里資料館」を訪れました。橋立集落は二〇一七年四月に「荒波を越えた男たちの夢を紡いだ異空間 北前船寄港地・船主集落」のテーマにそって日本文化遺産に認定されました。贅を尽くした船主邸が残る街並橋立は船主・船頭・船乗りが集住した村です。明治大正にかけ「日本一の富豪村」と称されました。船板を再利用した板塀や屋敷の外観は一見質素ですが、内部は豪華なつくりとなつてい



板塀からせり出す見事な庭木

ます。また赤瓦の屋根が多いのに気づきます。赤瓦は黒瓦より古い時代のもので、当時、瓦はとても高価な物でした。かやぶき屋根が一般的な時代に、橋立の住民には財力もあり多くの家が赤瓦の屋根を使用しました。

この「北前船の里資料館」は船主である酒谷長兵衛の屋敷でした。酒谷家は江戸時代より海運業を営み、橋立では西出家、久保家、増田家などに次ぐ大船主の家柄です。六隻の北前船を所有し巨額の財産を築きました。美術品の収集も行い、その膨大なコレクションは、平成十二年加賀市に寄贈されました。この屋敷の敷地面積は千坪、「オエ」と呼ばれる三十畳の大広間にはケヤキの柱、巨大な松の梁、秋田杉の一枚戸など最高級建材が使われています。仏間には夏用冬用の大小一對の仏壇が展示されています。船絵馬や船模型、遠眼鏡、船箆、船乗り衣装、屏風、海図、引き札、和磁石なども展示されています。資料館の中で、特に目を引いた展示品は、船仏壇です。「板子一枚下は地獄」と言われ

る苛酷な船旅にとって船仏壇は心の拠り所だったことでしょう。ガイドさんの身振り手振りを交えた楽しい話術に引き込まれてしまいました。



ガイドさんの話術に引き込まれます。

北前船は、江戸時代中期より明治三十年頃まで、大阪と北海道を日本海回りで商品を売買しながら結んでいた商船です。単に荷物を運搬していた船ではあ

りません。寄港地で安いと思う商品を買ひ込み、それが高く売れる港で積み荷を売りさばきます。つまり荷物を運搬するだけの「賃積船」に対し北前船は「買積船」だったのです。また、北前船は文化も運びました。北海道の昆布によって、西日本の食文化の基礎ができました。民謡や木綿なども広まりました。かつて近江商人に雇われていた北陸の船頭たちは自前で船を持ち、近江商人以外の江差や函館の商人と取引したり、大阪の商品問屋と直接取引したりして、徐々に近江商人から独立しました。最盛期は明治に入ってからです。明治三年よりどこの港でも交易が可能となりました。西洋

式帆船のように複数の帆を装着するなど船の改良も進みました。しかし、明治二十年代に利益は



展示されている沢山の品々を見学

減り始めます。通信手段が手紙しかなかった時代は、地域によってばらつきのある商品価格を知ることができたのは船頭のみ。その差額を利用して大きな利益を得ていましたが、電信という文明開化の手段が普及し価格情

報を独占できなくなりました。明治二十四年、東京青森間の鉄路が全通します。津軽海峡さえ超えれば、北海道と東京が陸地で直結しました。

荷物を大量に、そして安全に輸送できる汽船が次第に普及しはじめ、明治三十年に入ると北前船は姿を消しました。日露戦争の影響もあり、北海道の周辺



資料館の成り立ちや船主について伺う

海域は危険区域となり、北前船は完全にピリオドを迎えたのでした。

あらためて北前船が大きな役割を果たしていたこと、そして私たちの食生活や音楽衣料に渡る変革の一翼を担っていたことを知ることができました。命がけで海と戦った男たちのロマンと夢物語を知ることができました。

鹿児島全国大会

さつまおこじょのおもてなし

九月六日（金）、第五十一回全国商工会議所女性会連合会鹿児島全国大会が、鹿児島市で開催され、全国三百三十女性会から約二千五百人（当所女性会より

六名）が参加しました。



式典は、薩摩琵琶が奏でる盛に合わせたフラメンコの舞踏で幕を開けました。主催者挨拶で藤沢薫全商女性連会長は、「令和の時代を迎え、心新たに、各地の女性活躍をけん引する女性のリーダーとして、また、一人一人輝く女性経営者団体として、未来を開いていく活動と成果を

追求していかなければならない」と全国の女性会メンバーへ一層の女性会活動の推進を呼びかけました。

続いて挨拶をした三村日本商工会議所会頭は、「日本最大のネットワークを持つ女性経営者団体として、令和の時代にふさわしい女性ならではの柔軟かつ大胆な発想と実行力で次の五十年、また百年に向けて、これまで以上に地域経済に新たな活力を与えてほしい。」と期待を寄せられました。

総会では、第十八回女性企業家大賞および全商女性連表彰の授賞式が行われ、最後に次回開催地の岡山県倉敷の女性会へ大会旗が渡され、締めくくられました。

した。

式典終了後の記念講演会では、作家の林真理子氏を講師に『わたしの仕事から』と題した講演会が開催されました。



林真理子氏による記念講演

林氏は、昨年放送された「西郷どん」の執筆について触れられ、西郷さんを描くにあたり、取材を重ねていくうちに彼を取り巻く二人の女性を描くことが重要

だと感じた。一つの作品を仕上げる為に、有識者や編集者と協力し資料を読み込むといった作業があると執筆作業の裏側を明かし、長年の経験から最近では、義侠心が大切と思うようになった、力のある方が折れてあげるのが、人間関係を良くするコツと思うようになったと語られました。

県連女性会視察研修

鹿児島島の食文化から学ぶ

鹿児島島全国大会に合わせ、県商工会議所女性会連合会では、鹿児島県内で視察研修を行いました。

鹿児島島の名産品「黒酢」を醸造している壺畑を見学し、その場で直接、仕込んでから三年、五年、

十年の黒酢を味見して熟成による味わいの違いを感じました。また併設のレストランでは、前菜からデザートにまでお酢を使ったメニューをいただきました。



沢山の壺が並ぶ黒酢の壺畑

視察旅行

「富岩運河環水公園」 中島閘門

十月十八日（金）、当所女性会（池元ことみ会長）は富山方面の視察旅行を行い会員十六名が参加しました。

富山市の中心に位置する富岩環水公園に赴き、国の重要文化財である中島閘門を見学しました。

運河終点と海をつなぐ高低差二・五mをパナマ運河と同じ仕組みで水位を調整し船が往來します。水門が閉じられ勢いよ



水門が開きフェリーが行き来する

く水が流れ込み渦巻きながら水位が上がり船を押し上げていく様はなかなか迫力がありました。公園には何度か訪れたことのある方もおられましたが、船が水門を行き来する様子は皆初めてで熱心に観察していました。

富山の産業

立山連峰と富山湾の恵み

次に場所を公園中央の天門橋へ移し、展望塔から一帯を眺め、富山市の神通川の治水、立山連峰から富山湾へと流れ込む水資源から生み出される富山の産業の成り立ちなどをガイドの方から説明を受けました。

昼食には富山湾の白えび料理を頂き、午後からは梅かまミュージアムにて、飾りかまぼこの体験を行いました。鯛形の土台のかまぼこに色付けされたすり身を絞り出し思い思いに仕上げ



富山のまちづくり、自然の恵みを味わい実感する視察となりました。

ていきます。その後、滑川の海洋深層水の取水施設アクアポケットへ立ち寄りしました。富山湾はすり鉢状の深い海が特徴で施設では取水された深層水の原水やフィルターを通した脱塩水、高濃縮水など六種類の水が作られています。その内、脱塩水と高濃縮水を試飲しました。

新規会員のご紹介 ~ご加入ありがとうございます~

宮田 彩乃さん ((有) ミヤタ鉄工) トラック部品等製造業	菅波町
大黒 友理さん (K&T ミュージックスクール) ボイストレーニング	幸明町
八田 有花さん (FuntasLab) 洗剤小売・お洗濯教室他	馬場2丁目
松下 美江さん ((株) シャンス) リラクゼーションサロン	馬場2丁目

一緒に活動しませんか。新しい仲間を募集中！女性同士、異業種交流の場です。

エコキャップ 収集報告

収集にご協力ありがとうございます。

第15回引渡し結果 (令和元年11月19日)

収集キャップ個数 81,700 個

収集キャップ重量 190kg

ポリオワクチン相当数 95 人分

収集期間 平成31年4月~令和元年10月

ペットボトルキャップ1個からでもOK!
商工会議所ロビーに回収箱があります。
いつでもお持ちください。

新年会のご案内

新年のひとときを共に寿ぎましょう

日時 令和2年2月7日(金)
午後6時30分より

場所 かつ新 (相木町)

皆さまのご参加お待ちしております。
詳細は同封のチラシにてご確認ください。

